

山行報告書				
日時	2023年11月11日(土)~12(日)		天候	晴時々曇り
山名	大崩山			
CL	HIRO	参加者	O山 フジ ナカシー ヨッシー tomo N川 ひとみ M田 (総勢9名)	
(コース)	11月11日(土)白木原駅9:00 ー御船IC(買い出し)ー14:00祝子川温泉 美人の湯 15:00祝子川キャンプ場コテージ泊 11月12日(日)大崩山登山口 6:00ー8:45袖ダキ展望所…上ワク塚基部… 11:30大崩山山頂…14:00坊主岩 …16:00大崩山荘登山口(行動時間約10時間)			
HIRO 感想 & 登山メモ	<p>1.紅葉の時期が終わっていて静かな山行を楽しむことが出来たが、急な冬型の気圧配置になったため、山頂手前の稜線は風が強く、体感温度は5℃ぐらいに感じた。山頂は寒くてとどまっていられないと、暖かな場所へ移動して昼食を取った。この時期の登山は天気が良くても雨具上下、防水性と保温性のある手袋は必携である。ネックウォーマーや薄手のダウンもあると良いだろう。</p> <p>2.坊主尾根の下山は鎖場や梯子が多いので、降水が予想される場合は避けた方が良い。設置してあるザイルは擦り切れてかろうじてつながっているものも多いし、梯子を固定しているロープも腐っている。今後の整備が待たれる。坊主尾根に入る前にハーネスを持っている場合は着けておくこと。</p> <p>3.美人の湯の隣の駐車場は夜間は閉鎖するので、基本的に利用できない。キャンプ場の管理人に聞いたら、見なかった場合は厳しく注意されるということだ。</p> <p>4.祝子川キャンプ場のバンガローはお風呂もついていて広くて快適。ベッドも4人分あるのに、使用料は4人で5250円と格安。管理人さんの対応も良く、とても良心的な施設だった。</p>			
ひとみ 感想	祝子川キャンプ場でコテージ泊して、まずは乾杯! 具沢山の鍋も、鶏肉の炭火焼きもそれぞれが、とても美味しかった! 買い出し、準備、調理、全てを、いつも担って下さる、HIROリーダーには感謝でいっぱいです。そして焚き火を囲んでの談笑は、仲間の絆をより深めるように感じます。			
フジ 感想	袖ダキからの景色は怖かったですがなかなか見る事の出来ない絶景でした。梯子の連続とトラバース有りのスリルあって充実した山行でリーダーと皆さんに感謝します。			
O山 感想	9時30分に基山PAで集合し宿泊先の祝子川キャンプ場に向かいました。途中、道の駅青雲橋でランチにチキン南蛮を食べ 6時間ほどの長いドライブでした。宿は4人用のベッドがあるきれいなバンガローでユニットバス、トイレ、炊事場付きの8人は泊まれる広い所でした。夕食は炭火焼き鳥とちゃんこ鍋でお腹いっぱい食べ、その後キャンプファイヤーで団楽して楽しい一時を過ごしました。翌日は5時半から大崩山山頂を目指し出発しました。登山口近くの路肩に車を停め用意していましたが、ヘッドライトにスズメバチが寄ってきて大変なことになっていました。どうにか出発し山頂目指して歩いて行きました。途中に河原を石を跳びながら渡ったり、幾つもの梯子やロープを登り降りして、素晴らしい岩稜帯景色や山尾根を見たり登ったりすることができ、エキサイティングな体験を満喫しました。いろいろな見所に寄りながらロングトレイルとなったこともあり、駐車場に戻った時は15時30分を回っていました。全員が大きな怪我や事故もなく無事下山できて良かったです。非常に満足のいく山行でした。計画し、リーダーに同行頂いたメンバーの皆さん、ありがとうございました。			
ナカシ 感想	落ちたらアウトの絶壁、はしごとロープのオンパレード、1人では到底登ることのできない大崩山にリーダーの的確な指示とご一緒いただいたメンバーのおかげで登ることができました。緊張の連続でしたが、下山後の爽快感と何とも言えない 疲労感、祝子川温泉は最高でした。前日のバンガローでの焚き火と食事最高で忘れられない山行となりました。リーダー、メンバーの方々ありがとうございました。			
よっしー 感想	大崩山に登るのは何年ぶりかな?と思いYAMAPの記録を遡ってみると未踏。そうか、まだYAMAPが無かった頃だったのかと少ない記憶を思い出しながらの大崩山でした。今年は11月だというのに暖かい日が続き、どのくらいの寒さ対策が必要なのか迷いましたが、稜線では冷たい風が吹いたものの雨でぬれる事はなく天候に恵まれました。久しぶりに岩の絶景を楽しむ事ができテンション上がって写真を撮っている時、袖ダキ展望所で突風にあおられ帽子を飛ばされしまい油断があったなど反省 飛ばされたのが帽子で良かったです。やっぱり自分は山に限らず高い所が好きなんだなと思うので、皆さんに迷惑をかけないように楽しまなくてはと思っています。また、今回リーダーの後ろ3番手だったので、梯子やロープ等の危険個所での注意点などの細かいご指導がよく聞こえ改めて大変勉強になりました。記憶力の低下に悩まされている日常ですが、記憶に刻んで山を楽しみたいと思います。			

<p>tomo 感想</p>	<p>「大崩山」名前からもろく崩れる山で危険いっぱいと思っていたが、見た目だけが崩れそうな山で、ロッククライミングの聖地とのことだった。しかし、ただ登るだけでも楽しい。大崩山山頂からは迫力ある岩壁天を突き刺す岩峰群がそびえたち、迫力満点だ。登山道は鎖場や崖のトラバース、ハシゴのオンパレードで、ルートの整備などあまりされておらず、ロープは細くちぎれそうな所がいくつもある。はしごは、針金で結んでありグラグラしている。気を抜いたらヤバイと緊張感とスリルを味わいながら下山。九州最後の秘境を実感した登山でした。企画して戴いたL-SLIC感謝します。</p>
<p>M田 感想</p>	<p>一年ぶり、2回目の大崩山。1回目の怖さはなくて、高度感を楽しめました。ロープ、梯子、岩の練習がたーくさんできました。リーダーの美味しい鶏の炭火焼、鍋でお腹いっぱい。ぐっすり睡眠Zなとれました。いつもありがとうございます◎ みなさんお世話になりました(〃)/</p>
<p>N川 感想</p>	<p>関東でもクライマーの憧れで名高い大崩山に登ることができました。1600m程とはいえ、高度感、眺望、コースバラエティ、どれもが素晴らしく、終始感動でした。まだ暗い朝方から約9.5時間のハラハラドキドキコース、心身ともにヘトヘトでしたが、事故なく無事に登下山できたこと感謝感謝です。長距離ドライブ&amp;お疲れ様でした、ありがとうございました。</p>
<p>費用概算</p>	<p>(交通費・宿泊費・夕食)9,500円/人 祝子川キャンプ場バンガロー5,250円/棟</p>

